
バベルの塔

祐帆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バベルの塔

【Nコード】

N0045D

【作者名】

祐帆

【あらすじ】

バベルの塔が遂に完成してしまった。らしい。現代を生きる大樹が受けた未来からの指令とは…？

no.1 プロローグ

昔から人間は、神様だとか天の上の世界だとか、とにかく自分たちの手の届かない場所に到達しようといつも無駄な努力をしている。その代表的なものに「バベルの塔」がある。

シナルの野に集まった人々は、煉瓦とアスファルトを用いて「天に届く塔」を建設し、全地のおもてに散るのを免れようと考えた。しかしそれは無念にも失敗して崩れてしまう。

これは旧約聖書の「創世記」に登場するの物語だが、実に「人間」そのものを象徴する創造的な物語である。

風船で世界一周を目指したり、動物との会話を実現しようとしたり、落ち着いて考えればどれほど馬鹿げた挑戦であるかが伺えるほど実現不可能極まりない挑戦だ。

いつから人間はこんなに馬鹿になってしまったのだろう。

本当に「バベルの塔」を建設しようとした国家もある。

旧ソ連は頂上に近くづくにつれセットバックして細くなってゆく構造の世界最大高層ビルを建築しようとしていたが、1941年の戦争で工事は中断された。

人間の愚かさを浮き彫りにしたしょうもない事件である。

しかし、そんな旧約聖書の「バベルの塔」には続きがある。

神はこの塔を見て、言葉が同じことが原因であると考え、人々に違う言葉を話させるようにした。このため、人々は混乱し、世界各地へ散っていった。

これが世界各地に多数の言語がある理由である。…が、今また世界の共通語

「英語」が出来上がるうとしてる。

では、もし世界の共通語ができたら

「バベルの塔」は建設可能なのだろうか。

神は

「バベルの塔」の完成を恐れ、人々に違う言葉を話させるようにした。

ということは、人々が同じ言葉を話すようになったら

「バベルの塔」は完成するのか。

「バベルの塔」が完成し、人間が神の世界に侵入したら世界はどうなってしまうのだろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0045d/>

バベルの塔

2010年10月11日03時21分発行